

# 「ASRに対する診断と抑制対策のあるべき姿」に関するシンポジウム (仙台会場)

## —参加募集—

主 催：公益社団法人 日本コンクリート工学会  
 後 援：土木学会 日本建築学会 セメント協会  
 全国生コンクリート工業組合連合会 日本砕石協会  
 日本砂利協会 コンクリート用化学混和剤協会  
 国土交通省東北地方整備局  
 東北大学インフラマネジメント研究センター  
 宮城県生コンクリート工業組合 青森県コンクリート  
 診断士会 宮城県コンクリート診断士会 ふくしま  
 インフラ長寿命化研究会 建設コンサルタンツ協会  
 東北支部 東北測量設計協会 日本技術士会東北支部  
 プレストレストコンクリート建設協会東北支部  
 東北建設業協会 東北コンクリート技術研究会

開催日：仙台会場 2014年12月16日(火)

アルカリシリカ反応(ASR)に対する診断手法や抑制対策は、国内外で変わりつつあります。国内では抑制対策以降の被害や補修後の再劣化など、技術的課題が顕在化しています。海外においては、国内とは異なる岩種への対応も含め、最新情報を用いる必要があります。このような背景の下、平成23年度に「ASR診断の現状とあるべき姿研究委員会」(委員長:山田一夫 国立環境研究所主任研究員)を設立し、3年間の活動から、ASRのリスクの考え方を基に、ASRに対する診断と抑制対策のあるべき姿について議論した成果を報告します。

去る7/18に開催された東京会場では、委員会報告と3件の基調講演、委員会提案(診断方法、コンクリートプリズム試験、抑制対策)を説明し、複数の専門家の異なるASR診断結果を比較・評価し、課題抽出しました。地方開催も、ASRが地方の特性を反映するものであることから、福岡、札幌、大阪、金沢とそれぞれの地域で特徴ある情報を地域の専門家から紹介いただき、地方色を反映した議論も行えました。ASR診断の実務の診断結果の事例が比較紹介される場は他になく、診断の実務者と管理者の双方に有用です。日頃の疑問をご提示いただき、お答えできる時間を設けています。

特に東北地方においては、現在東日本大震災からの復興を目指し、多くのコンクリート構造物が構築されていますが、ASRに対する理解が十分とは言えないため、適切な対策を講じていない事例が散見されます。また、既設構造物に目を転じると、ASRによる劣化が顕在化しつつあるにもかかわらず、その診断技術が十分でないため、見落とししたり、凍害と誤って診断するといった問題も後を絶ちません。急ぐ復興ではあっても将来に負の遺産を残さないように早急にASRに関する理解を深める必要があります。このような背景の下、この度、仙台でも本シンポジウムを開催する運びとなりました。東北地方におけるコンクリート技術者にASRに対する理解を深めると共に、その診断と抑制対策のあるべき姿について、情報を共有させていただきたく、多くの関係者のご参加をお待ちしております。

## 記

### 1. 開催日時、開催地、会場：

開催日時	開催地	会 場	定員
12月16日(火) 13:00～17:00	仙台	TKP ガーデンシティ仙台 ホールC (仙台市青葉区中央1-3-1)	100名

\*各会場定員になり次第、締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。

### 2. プログラム(予定)：

仙台会場のプログラムは、次の通りです。

なお、プログラムにつきましては、当日、予定変更となる可能性がございます。

13:00 ～ 13:10	開会挨拶	山田 一夫 (国立環境研究所)
13:10 ～ 14:00	基調講演「東北復興道路の長寿命化に向けた現状と課題(仮題)」	佐藤 和徳 (国土交通省東北地方整備局南三陸工事事務所長) 岩城 一郎 (日本大学)

- 14:00 ～ 14:40 基調講演「アルカリ骨材反応の岩石学的診断の効用と留意点」  
片山 哲哉（太平洋コンサルタント）
- 14:40 ～ 15:00 質疑応答
- 15:00 ～ 15:10 < 休 憩 >
- 15:10 ～ 16:40 WG 活動報告
- 16:40 ～ 16:50 質疑応答
- 16:50 ～ 17:00 閉会挨拶 遠藤 孝夫（JCI 東北支部長）

**3. 参加費：**消費税込み，配布資料含む。

	仙台
正会員（個人）	5,000 円
団体会員 *1 ・後援団体 *2・3・4	6,000 円
会 員 外	7,000 円
学 生 *5	3,000 円

\*1 本学会団体会員の役員・職員 \*2 後援団体の個人会員および役員・職員

\*3 セメント協会加盟会社の役員・社員および同協会の役員・職員

\*4 全国生コンクリート工業組合連合会，各地生コンクリート工業組合およびその組合員会社の役員・職員

\*5 学生の方は学生証のコピーを申込み時に必ず同封してください。

**4. 申込方法：**

- 1) 参加費を郵便局備付けの払込取扱票にて下記口座へ払い込みください（払込手数料は申込者にてご負担願います）。

振替口座番号：00120-5-99133 （加入者名：公益社団法人日本コンクリート工学会）

\*通信欄にシンポジウム名・参加者氏名を必ず明記してください。

\*納入された参加費は，定員に達しお断りした時以外はお返しいたしませんので，あらかじめご了承ください。

- 2) 参加申込書に必要事項を記入のうえ，前記 1) で郵便局から発行される払込受領書のコピーを貼付し，送付先を明記した 82 円切手貼付の返信用封筒を同封し，下記申込先へ郵送してください。折り返し同封の返信用封筒により参加証をお送りします。

**5. 申 込 先：** 〒 102-0083 東京都千代田区麴町 1-7 相互半蔵門ビル 12F

公益社団法人 日本コンクリート工学会

「ASR 診断と抑制対策シンポジウム」係（担当：渡部）

TEL：03-3263-7204 / FAX：03-3263-2115 E-mail：watanabe @ jci-net.or.jp

# 「ASR に対する診断と抑制対策のあるべき姿」に関するシンポジウム 参加申込書

仙台会場 (12/16)

申 込 者	氏 名							
	勤 務 先							
	同上所在地 (または連絡先)							
	郵便番号	〒	□□□□	-	□□□□	電 話 番 号	(      )	-

  

(1) 受付番号	(2) 参加者氏名	(3) 勤務先/部署	(4) 連絡先 (TEL/E-mail)	(5) 会員・会員外の別
				<input type="checkbox"/> JCI 正会員 (No.                      ) <input type="checkbox"/> 団体会員・後援団体 JCI 団体会員 (No.                      ) 所属後援団体名 (                      ) <input type="checkbox"/> JCI 学生会員 (No.                      ) <input type="checkbox"/> 会員 外
				<input type="checkbox"/> JCI 正会員 (No.                      ) <input type="checkbox"/> 団体会員・後援団体 JCI 団体会員 (No.                      ) 所属後援団体名 (                      ) <input type="checkbox"/> JCI 学生会員 (No.                      ) <input type="checkbox"/> 会員 外

- [注]
- (1) 欄は記入しないでください。(2) 欄は申込者と同一の場合も記入してください。
  - (5) 欄は該当する箇所に☑を記入して下さい。
    - ・ JCI 正会員 (個人)・団体会員の場合は、かっこ内に会員番号を必ず記入してください。
    - ・ JCI 団体会員の一覧は HP に掲載してあります。必ず確認のうえ申込みください。
    - ・ 後援団体の所属として申込みの場合は、所属後援団体名を必ず記入してください。
    - ・ 学生の方は学生証のコピーを必ず同封してください。
  - 参加費は、郵便局備付けの払込取扱票にて下記口座へ払い込みください (払込手数料は申込者にてご負担願います)。  
 申込みは本用紙に払込受領証のコピーを貼付し、送付先を明記した 82 円切手貼付の返信用封筒を同封し、下記申込先へ郵送してください。折り返し同封の返信用封筒により参加証をお送りします。  
 振替口座番号：00120-5-99133 (加入者名：公益社団法人日本コンクリート工学会)  
 \*通信欄にシンポジウム名 (会場名など) および参加者氏名をご記入ください。  
 申 込 先：〒 102-0083 東京都千代田区麹町 1-7 相互半蔵門ビル 12F 公益社団法人 日本コンクリート工学会  
 「ASR 診断と抑制対策シンポジウム」係 (担当：渡部)
  - 納入された参加費は定員に達しお断りした時以外はお返しいたしませんので、あらかじめご了承ください。

[送金内訳]

### <仙 台 会 場>

JCI 正会員	名×@	5,000 円=	円
団体会員・後援団体	名×@	6,000 円=	円
会 員 外	名×@	7,000 円=	円
学 生	名×@	3,000 円=	円
-----			
合計送金額			円

[ 払込受領書 (コピー) 添付 ]

\*通信欄にシンポジウム名、講習会名等 (会場名など) および参加者氏名をご記入ください。